

本書をご購読の皆様へ

細心の注意を払って、本書を作成しましたが、下記の誤り及び不十分な点が発見されました。謹んでお詫び申し上げますと同時にここに訂正します。

31 ページ 問 032 の解説の下の(1) 標本化

以下のものに差し替える。

(1) 標本化

サンプリング周波数は 48kHz とされているので、本問ではシャノンの定理を使わず、48kHz でサンプリングする。3 分間のサンプリング回数は、3 分 × 60 秒 = 180 秒なので、180 秒 × 48k = 8,640k 回になる。ただし、問題は“ステレオでサンプリングした”ことを前提にしているので、同時に左右 2 つのサンプリングが必要になり、3 分間のサンプリング回数は、8,640k 回 × 2 = 17,280k 回になる。

34 ページ 問 036 のウ・エの解説

以下のものに差し替える。

ウ $X \rightarrow B$ が起こったら、左側は B を実行しているか、 B が終了して二重線で右側を待っているかのいずれかである。その次に $B \rightarrow A$ が起こるには、その前に、右側の Y が完了していなければならない。

エ $Y \rightarrow X$ が起こったら、右側は X を実行しているか、 X が終了したかのいずれかである。その次に $X \rightarrow B$ が起こるには、その前に、左側の A が完了していなければならない。

36 ページ 問 037 の解説 (2) 実装方法 2 上から 4 行目

誤： $\rightarrow \dots \rightarrow X_n$ というように、ポインタをたどって末尾 X_n を検索

正： $\rightarrow \dots \rightarrow X_{n-1}$ というように、ポインタをたどって X_{n-1} を検索

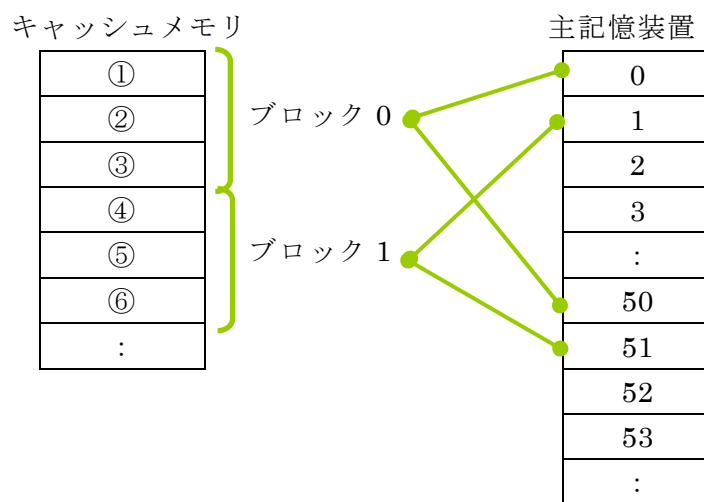
43 ページ 問 043 の解説(1)の下から 4 行目

誤：目的のデータの値 > 各ブロックの最後尾のデータの値

正：目的のデータの値 ≤ 各ブロックの最後尾のデータの値

71 ページ 解説 上の図

下記の図に差し替える。



⋮

以上